

KM-NBST-212D・DB 取扱説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。万が一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、本説明書をご覧いただき、末永く安全にご愛用くださるようお願い申し上げます。

ご注意とお願い 一けがや故障などを防ぐため、ご使用前に必ずお読みください

【使用する前に】

- ・ストレッチャーの各部を点検してから使用してください。
ブレーキペダルを操作しブレーキが掛ること
昇降用ハンドルを回し、スムーズに担架部が上下し、ガタつき、異音がないこと
サイドレールが確実に固定できること
背上げレバーを操作し、背上げ部が確実に固定でき、ガタつきがないこと
キャスターの割れ、取付けにガタが出ていないこと
異常が見つかった場合は使用を中止し、販売店にて修理、点検をして頂きますようお願いいたします。



【使用中は】

- ・患者の搬送用以外には使用しないでください。台車の代わりに使用しないでください。
- ・搬送時は、二人で行ってください。
- ・患者の乗せ替えをする時は、必ずブレーキを掛けて行ってください。
- ・昇降用ハンドル操作によって担架を上下させる時は必ずブレーキを掛けて行ってください。
- ・昇降操作以外のときは、昇降用ハンドルを折りたたんで使用してください。
- ・搬送中は必ずサイドレールを立ててロックされていることを確認してから使用してください。

- ・サイドレールを患者さんの移動の台及び、起き上がりの手摺に利用しないでください。破損した場合、患者さんが落下し危険です。(サイドレールは搬送中の落下を防止する為の物です)
- ・ストレッチャーから離れる時は必ずブレーキを掛けてください。また、坂の途中には放置しないでください。
- ・段差や溝などを勢いをつけて乗り越えようとする事は、キャスターの故障の原因となりますので行なわないでください。
- ・担架の両端に腰掛けると、ストレッチャーが転倒しますのでしないでください。
- ・ストレッチャーの上には立ち上がらないでください。
- ・ストーブ等の火の気に近づけないでください。

【使用後は】

- ・屋外に放置すると汚れ、錆びなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。

ご使用の手順

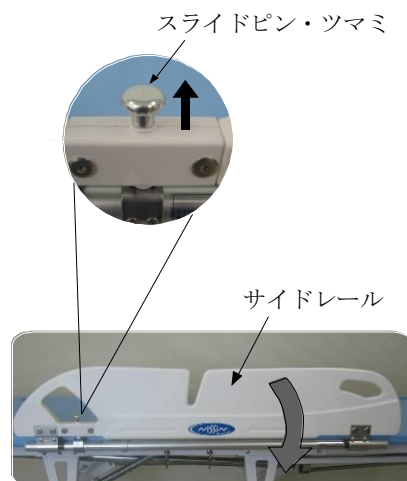
①サイドレールの操作

- ・サイドレールのジョイント部分に、スライド式のピンがあります。スライドピンのつまみを引き上げるとサイドレールを外側に回転して倒すことができます。

⚠️ サイドレールを立てるときに、スラドピン部で患者さんの指を挟まないように十分注意してください。

- ・サイドレールは起こすと自動的にロックされます。安全のため搬送中は必ず立ててロックした状態で使用してください。

※サイドレールを押し手の変わりにして、ストレッチャーを移動させないでください。サイドレール、スライドピンの変形・破損の原因になります。



②背上げの操作 —背上げ機構付き (DBタイプ) の説明になります—

担架の背上げ部パネル裏側のフレームに背上げレバーがあるので、以下の手順で操作してください。

- ・背上げレバーを握り、背上げ部パネルを持って希望の角度まで動かして、背上げレバーをはなすと、背上げがロックされ角度が固定されます。安全の為、背上げ部が完全にロックされていることを確認してください。


⚠️ 患者が背上げ部に乗っている状態での操作は、危険です。で行わないでください。

背上げ部とベースフレームの間に手・指を挟まぬ様充分に注意して操作してください (必ず操作に習熟した方がついてください)。




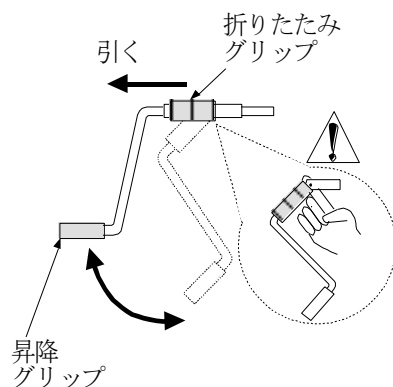
③担架部昇降の操作

- ・昇降用ハンドルを時計回りに回転させると担架部が上昇し、反時計回りに回転させると降下します（最上部または最下部に達した時は、ハンドルが重くなりますのでそれ以上回すと故障の原因となりますので無理に回さないでください）。
- ・昇降用ハンドルは、折りたたみ式となっています。折りたたみグリップを手前に引きながら折りたたんでください。そのとき、もう一方の手で昇降グリップを持って両手で操作してください。

 指を挟まないよう折りたたみグリップは手前の方を握って操作してください。

- ・担架部の昇降時以外のときは、昇降用ハンドルはかならず折りたたんだ状態にしてください。
- ・使用する時は、昇降グリップを持って手前に引くと昇降用ハンドルが使用する時の位置に戻ります。

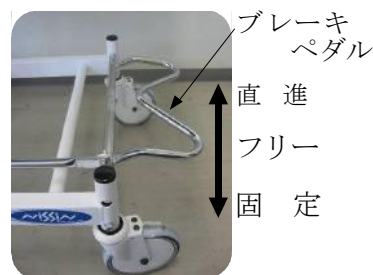
 ハンドルを折りたたむ時に手・指を挟まないよう十分に注意してください。



④トータルロックブレーキの操作

昇降用ハンドル側のキャスト間にブレーキペダルがついています。このペダル操作によってフリー、固定、直進と使い分けてください。（ペダル中央部にペダル位置を示すシールが貼ってあります）

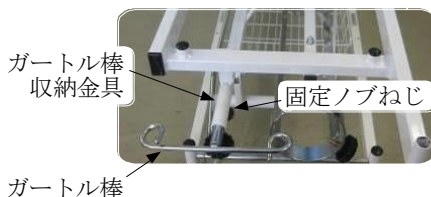
- ・直進 昇降用ハンドル側から見て、前方左側のキャストが直進方向で固定されます。長い直進走行の時に使用してください。
- ・フリー 四輪自在になります。通常走行時に使用してください。
- ・固定 四輪固定になります。患者の乗せ替え時または、担架部を昇降させる時に使用してください。



※停車中は、必ずブレーキを掛けてください。ブレーキペダルの固定は、患者さんの乗せ換え時やハンドル操作等の時にキャストを固定させる為の物です。下り坂などでスピードを緩める為のブレーキとしては使用しないでください（キャストが故障します）。

⑤ガードル棒の取り扱い

- ・ガードル棒の取り付け金具は、担架の頭側、足側の2箇所あります。
- ・ガードル棒は、伸縮固定ノブねじによって高さ調節ができます。
- ・ガードル棒をガードル棒取り付け金具に取りつけるときは、担架部の下にあるガードル棒収納金具から取り出し、取り付け金具の奥いっばいに差し込んで、ガタ止め固定ノブねじを締めてください。
- ・使用しない時は、収納金具に収納し、固定ノブねじを締めてガードル棒を固定してください。この時、ガードル棒が担架からはみ出さないように奥まで差し込んでください。



お手入れ・点検の方法

- ・汚れのひどい時は、中性洗剤の薄め液をスポンジに含ませ汚れを取った後、乾いた布で拭いてください。
- ・塩素系洗剤・シンナー・クレンジングなどは、絶対に使用しないでください。
- ・たわしや磨き砂、研磨剤入りのスポンジなどは、本体を傷つけますので使用しないでください。
- ・ボルト・ナット類の緩みがないか、定期的に点検していただくようお願いします。緩んだままでのご使用は危険ですので、締め直るか販売店にご相談ください。

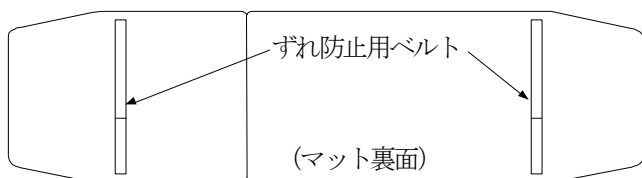
仕様

- 形 式 : KM-NBST-212D 背上げ機構なし
KM-NBST-212DB 背上げ機構付き
- 材 質 : フレーム部/スチール及びアルミニウム合金製 粉体塗装仕上げ
担架部・サイドレール/ポリプロピレン
マットレス/ウレタンフォーム ビニールレザー仕上げ
- 寸 法 : 635 (W) × 1965 (L) × 530~890 (H) mm
- キャスター: スチール製 125mm 双輪トータルロック付き
- 重 量 : D /約6.4kg
DB/約6.5kg

[付属品]

- ・マットレス

背上げ機構付きマットレスの場合、枕付きになります



※ マット裏面には、2ヶ所にずれ防止用のベルトが付いています。使用前に、ストレッチャー担架部に固定して使用してください。

- ・ガートル棒 (1本)

[オプション品]

- ・NBST-212-1 酸素ボンベ架 (横型) (内容量3.5ℓボンベ用)

酸素ボンベをご使用になる時は、担架部の下にある酸素ボンベ架に奥いっぱいまで入れ、固定ノブねじを締めて酸素ボンベを固定してから使用してください。



固定ノブねじ

- ・NBST-212-2 酸素ボンベ架 (縦型) (内容量3.5ℓボンベ用)

酸素ボンベをご使用になる時は、担架部の下にあるスライド固定ノブねじ緩めてボンベ架を外側に引き出し、酸素ボンベを入れます。ボンベ固定ノブねじ及びスライド固定ノブねじを締めて酸素ボンベを固定してから使用してください。

酸素ボンベを使用しないときは、ボンベ架を内側に戻しスライド固定ノブねじを締めて動かないようにしてください。



- ・NBST-212-3 ドレーンチューブフック

担架部下側のフレーム中央部に、片側2箇所、計4ヶ所に取り付けする事が出来ます。

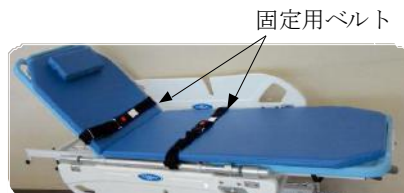
ドレーンチューブフック



- ・TY239-1 固定用ベルト

胸部・腰部に取り付けできます。自動車用のシートベルトと同様の止め具が付いていますので、カチッと音がするまで確実に金具を差し込んでください。止め具中央の赤い部分を押しとロックが外れます。

⚠ 使用していると、安全ベルトとストレッチャー本体との取り付け部が緩んできます。使用する前に、確実に締まっているか確認してから使用してください。



[サービスについて]

使用方法・故障などご不明な点は、お買い上げになった販売店か弊社までご連絡下さい。
本書に記載の意匠・仕様および部品は、性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

販売元 株式会社カワムラサイクル

本社 〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地3丁目9番1
TEL 078-969-2800 FAX 078-969-2811

製造・発売元 日進医療器株式会社

本社 〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35番地の2
TEL 0568-21-0635 FAX 0568-23-2787
東京営業所 〒112-0002 東京都文京区小石川1-21-14
TEL 03-3814-0923 FAX 03-3814-4644
大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里6-16-10
TEL 06-6323-8265 FAX 06-6326-2554
九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目3-8
TEL 092-513-5036 FAX 092-513-5038